

豊島 明子先生

先生のプロフィール

【出身地】

岐阜県岐阜市

【専攻】

行政法

【近年(2~3年)の担当科目】

行政法総論（基礎・応用）、法と人間の尊厳6

【学生時代のサークル】

演劇サークル。

自分たちで新しく立ち上げた団体でした。



〈豊島先生へのインタビュー〉

1. 先生の研究分野について教えてください。
 - A) 介護・保育・生活保護などの社会保障分野での行政活動がもたらす法律問題について研究しています。行政の基礎や根本にある価値の一つは、基本的人権を保障し、実現することです。人権を実現するための具体的な仕組みとしての行政法を、研究しています。
2. 先生が研究分野に興味を持ったきっかけを教えてください。
 - A) 憲法 25 条の生存権を具体的に実現させる方法として、行政組織の活動に興味を持ったことがきっかけです。母の介護を経験したことで人権問題への関心が高くなり、高校時代には法学部に入りたいと決めていました。大学在学中は、憲法 25 条が保障する生存権に強く興味を持ち、人権問題について深く学びたいという思いから、学部の 3・4 年次には憲法ゼミに所属していました。その後、学部の授業で行政法の講義を受講した際、行政の役割とその実態について具体的に学ぶ中で行政法への関心が芽生えました。憲法を具体的に実現するための方法としては、行政の活動が重要だと考えるようになり、行政法の道に進むことを決意しました。
3. 先生の座右の銘は何ですか。
 - A) あまり考えたことはありませんでしたが、強いていうならば『誠実に生きる』ですね。

4. 先生が講義時に心掛けていることは何ですか。
- A) 難解な法律学の理論や概念をできるだけ噛み砕いて伝えることです。しかし、このことをあまり意識しすぎると、授業での説明に時間がかかりすぎてしまうことが課題です。
5. 先生が考える豊島ゼミの特徴は何ですか？
- A) アットホームで、全員が活動に参加できる点だと思います。特に、全員が真剣に議論に参加できるところが、とても良いところだと思います。
6. 学生に伝えたいことを教えてください。
- A) 学生の皆さんには、自分はなぜ法学部に來たのか、なぜこの分野に興味関心を持っているのかなど、自分が持っている価値観の根本にある理由を見つけて、その思いを突き詰めてほしいと思います。そうすれば「自分が本当にやりたいこと」が見つかるのではないのでしょうか。そして法学部で学んだ知識を自分のためだけに使うのではなく、どうすれば人のため、社会のために活かされるのかというところまで考えていただけたらと思います。

★ プロGRESSIVE 豊島 ゼミの実態！（2024年度ゼミ生4名）

★豊島先生のトリセツ

- ・ 学生の話をお身に聞いてくださる、とても優しくフレンドリーな先生です！
- ・ わからないことがあれば気軽に質問ができる距離感であり、また学生が納得するまで丁寧に教えていただけます。
- ・ 趣味はライブ参戦というロックな一面も！？

日々や休暇中の課題

活動内容

【日々の準備、課題】

1Qに2回の判例・検討論文に関する発表。
それに伴う事前準備。

【長期休暇課題】（夏季休暇）

自分が居住する自治体に情報公開請求を行い、その経験に基づいたレポートの作成。
（行政手続の勉強に大変役立ちます！）

【ゼミのタイムスケジュール】

5分：アナウンス、近況報告（雑談？）
30分：担当班による発表
20分：各自で質問を考える時間
45分：質疑応答、先生からの解説

2024年度のゼミ生は4人であったため、発表班2人・質問班2人に分かれて交互に発表を行いました。